

2026 柳川雛祭り さげもんめぐり

※展示期間、時間については変更の場合もあります。

- 凡 例
- さげもん処
 - 1~10 食事処
 - P 有料駐車場
 - P 無料駐車場
 - 名所
 - バス停
 - お堀めぐり乗船場
 - 観光案内所

さげ蒙のぼり旗が目印です。

※一部有料のところがあります
※見学時間、休日は各施設・店舗により異なります

杏里農園(〜3/31)
有料(¥500、お米付)

おひな様始祭行列コース
2/11(水・祝) 10:00~12:00

おひな様水上パレードコース
3/15(日) 11:00~12:20
(雨天の場合3/20(金・祝)に順延)

距離のめやす(徒歩)

- 西鉄柳川駅 ~ 辻 町 <13分>
- 辻 町 ~ 柳川市役所西 <10分>
- 柳川市役所西 ~ 本 城 町 <10分>
- 辻 町 ~ 水天宮(水辺の散歩道経由) <30分>
- 本 城 町 ~ 水 天 宮 <5分>

先行展示会場

1月26日(月)~

- 鰻・日本料理山田屋
- 柳川 白柳荘
- 柳川温泉 ホテル輝泉荘
- 柳川夢工房
- 亀の井ホテル柳川
- 紙久本店
- 北原白秋生家・記念館
- 田中企画
- 柳川市観光案内所 2階

《さげ蒙の由来》

江戸末期頃より、女の子が生まれると初節句のお祝いに、お雛様の代わりに古着の端切れで小物を作り飾ってお祝いしたのが始まりだといわれています。

袋物には、鶴、亀、えび、三番叟といった縁起の良い物で、一つ一つが袋物になって物を入れることができます。竹の輪に、7個7列の49個、中央に柳川まりを2個さげて全部で51個、人生50年と言われていた時代に一年でも長生きしてもらいたいという切なる願いが込められています。

縁起物を吊るして、初節句の女の子の幸せと健康、無病息災、良縁を願って飾る「さげもん」。親から子へ子から孫へ受け継がれ、地域みんなで初節句を祝う風習が今なお続き、心温まる思いやりと地域の絆を大切にしています。

《代表的な飾り物》

這い人形…生まれて、這い這いするようになった親の喜び。
子どもの豊かな成長を願う。
三番叟…祝いの席の舞を踊ります。
ひよこ…かわいらしさ、あとけなさ。
桜…桜の花のようにかわいく育ちますように。
梅…寒さに耐えて、春にさきがけて咲く。
えび…年老いて、腰が曲がってもなお元氣。
せみ…泣く子は育つ。土の中に何年もいて、辛抱の象徴。
蝶…さなぎから蝶へ。きれいに着飾らせて嫁に出したい親心。
宝袋…心が豊かになるように。
ねずみ…金運。子たくさん。
鶏…朝早起きで、つがいと仲良く卵を温め育てる。

顔出しパネル
設置場所
西鉄柳川駅
ひな通路 2月上旬~

観光案内所?
西鉄柳川駅

西鉄天神大牟田線

西鉄柳川駅より
車で10分

高橋商店
高橋總本舗

至みやま・柳川インター